

楽しかったこと、悲しかったこと、思い出、地域のできごと、イラストやマンガ、エッセイ、サークルのお誘い、趣味や宝物、広報へのご意見・ご感想などどしどしお寄せください。あなたの住所、名前、年齢、電話番号も忘れずに。投稿された人には、記念品を差し上げます。

読者の皆さんのページです。

ひろば

日頃の練習の成果を披露

●鞍手町舞踊協会

12月4日、

中央公民館で鞍手町舞踊協会第14回定期公演会が行われました。この日は、舞踊愛好者が多数出演しての公演会。日ごろの練習の成果を存分に発揮していました。会場からは演目ごとに惜しみない拍手が送られていました。



観光グルメマップ掲載店の募集

●鞍手町商工会

平成23年度鞍手町ふるさと雇用再生特別基金事業において、鞍手町商工会が地域のブランド力の構築と農工商融合による魅力ある商品開発を鞍手町より委託され、事業を実施しています。そこで、次のとおり、鞍手町の観光グルメマップの作成を計画しており、多くの方に参加していただきたく、グルメマップ掲載希望店を募集します。

●申込期日 平成24年1月13日（金）まで

●掲載料 無料

●申し込みに必要なもの 印かん

●申し込み先 鞍手町商工会

●問い合わせ 詳しくは、鞍手町商工会 ☎ 42局0357 番まで

第79回全国書画展覧会で入賞しました

●龍の会（絵画教室）

第76回全国書画展覧会に、全国の小中学校及び絵画教室等の団体から16万7千点の作品が出品され、龍の会からも6人の生徒が出品をしたところ、福田晃大（弥生・鞍手北中2年）が広島県教育委員会賞を、

福田晃大 作品

水上拓真（小牧・剣南小5

水上拓真 作品

年）が筆都大賞に選ばれ、広島県熊野町で、11月20日に表彰式が行われ、出席しました。



味噌づくりときなこづくりに挑戦

●鞍手町農業女性の会

11月29日に西川小学校と古月小学校で、きなこづくり。12月6日に剣北小学校、12月9日に西川小学校、古月小学校の3年生が味噌づくりに挑戦しました。ゆでた大豆を袋に入れて足で踏みつぶしたら、米こうじを加えて手でしっかりと混ぜ合わせていきます。熟成させて3か月から6か月後には完成します。特製味噌の味はきつと格別でしょうね。



陶芸

吉原 登さん
（直方市）

仏壇の花入れのつもりで作製したが出来上がりはお粗末で、とても仏様に顔向けができるものにはならなかった。今回は、もう少し努力して、ましなものを作りたいと思っているが……。



表装

西 喜久美さん
（八幡西区）

古い屏風を解体して、二曲一双にリニューアル。大きな屏風なので表装教室の仲間に協力していただき製作しました。中の白い鳳凰は、昔の婚礼用の帯です。



短歌

井手川 勉さん
（新延）

裏庭の泰山本の梢に育った子鴉が幼い声で鳴くのを聴いて、思いついた歌です。短歌はこのように想像して作る楽しみもあります。みなさんも一つ頭の体操で短歌を楽しんではいかがでしょうか。

子鴉のまだ整わぬ 初鳴きに
お節の余り ふんだんにやる

白熱の試合を 繰り広げました

●鞍手町体育協会

11月20日、町立体育館で、第10回鞍手町ソフトバレーボール大会が行われました。出場した13チームは、それぞれが連係の取れたプレーを披露し、いい汗を流していました。結果は次のとおりでした。（丸数字は順位。敬称略）。

●ミックスの部

①城ヶ崎②中山本村③弥生

●フリーの部

①新中山A②中山本村③城ヶ崎

気持ちいい汗を流しました 卓球大会結果

●鞍手町体育協会

12月4日、町立体育館で第28回鞍手町ラージボール卓球大会を行いました。結果は次のとおりです。今年は40人が参加、競り合うゲームが展開されました。（丸数字は順位。敬称略）

▼成績・男子シングルス ▼1位グループ①山本通昭②舟越克己▼2位グループ①渡瀬 寛②河野三郎▼3位グループ①山本和樹②吉田信博▼4位グループ①泉 義一②多賀義雄

▼成績・女子シングルス ▼1・2位グループ①舟越和子②田村益代▼3・4位グループ①渡瀬厚子②森 妙子

▼成績・ミックスダブルス ▼1位グループ①山本通昭・清水智子②南川典範・渡瀬厚子▼2位グループ①渡瀬 寛・勝木桂子②原田喜世一・桑原禮次郎▼3位グループ①鶴本 實・田村益代②吉田信博・狩野 淳▼4位グループ①水野達彦・多賀義雄②古里 満・幸田巡子

私、荒井は新延小学校の裏で漆器を販売して30年程、年月を重ねてきました。その中で、『漆』があまりにも理解されていないのに驚きました。そこで、この「リレーエッセー」という機会をいただき、『漆』の特性に関して少々書かせていただきます。

リレーエッセー

晴れたらいいね。

荒井 俊勝さん（新延・54歳）

VOL 154

一、耐水性 二、耐熱性 三、薬品耐性 四、抗菌作用。この4点に絞って漆器の使い易さについて述べていきます。

もともと漆は水分を好みます。漆を塗布し乾燥させるには、25度の温度と80%前後の湿度がないと自然には固まらないのです。また、固

まってしまう後は水分をはじきます。太宰府で発掘された武具がその実例で地下水に埋もれていた物は漆の色もその型もほとんど原形を留めていました。南部鉄器は漆を200度で塗布し高温硬化させます。漆は硫酸、硝酸、金を溶解させる

直に入れるとよくない（例えば、熱い味噌汁、熱い天ぷら等々を入れること）。中性洗剤等を使用しては駄目。食材を漆器の内側で放置すると腐る。等々。このようなことは漆の特性を考えてみますと、そのほとんどが間違った言い伝えです。また、言い伝え通りの使用で新しい漆器に

王水でも成分が破壊されません。漆を塗ったシャーレの内にO・157を入れ蓋をし24時間放置しておく

異変が起るのであれば、それは本漆が使用されていないという証でもあります。どうぞ日本文化である漆を楽しんで使用してください。

このような特性は、縄文時代より変わっておりません。ですから日常生活使用される際に、水桶の内に漆器を放置するのはよくない。熱いものを

今回は、矢津田領治さん（新延）です。

リフォーム

川波陸江さん
（新延）

男物の長襦袢で簡単なワンピースを作りました。模様が大きくて大胆だったので柄の位置に苦労しましたが、出来上がってみるとお気に入りになりました。



友禅

林 マチ子さん
（大池）

帯地に型染めをしました。型は扇面に4枚、着物に5枚、計9枚作りました。まわりに綱ぼかしを入れたりして手間暇かかった作品です。



広報 ぎやらりー

すてきな作品をお待ちしています

ねんど細工や絵、書、紙細工、陶芸、俳句、短歌など自慢の一品は、ありませんか。「広報ぎやらりー」では、紙面を彩るあなたの作品をお待ちしています。作品についての100字以内の感想もお願いします。役場総務課☎42局2111番まで、ご連絡ください。